

# 超高压技術標準化シンポジウム

## ご案内

現在、世界各国で超高压技術に関する研究やこれらを利用した製品が開発されていますが、日本も多くの研究分野で世界をリードしています。しかしながら、超高压技術に関する「国内標準」及び「国際標準」が未確立であり、国内外で産業化や医療等の分野への応用には数々の障壁が存在しています。

超高压技術に関して、新たな分野への普及定着、国際的リーダーシップの確立、国際市場への輸出拡大による国内企業の活性化などに資するためには、安全で質の向上を目的とした標準化原案の作成が必要であり、そのためには一層の標準基盤研究を推進する必要があります。

この度、以下のとおり、超高压技術に関する情報の共有化を図り、関係機関等の連携を深めるためのシンポジウムを開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。

**日時** 平成19年2月14日(水) 13:30~17:00 (受付は13:00より開始します)

**会場** 長岡グランドホテル

【主催】 財団法人にいがた産業創造機構(にいがた超高压技術基盤研究コンソーシアム)  
長岡商工会議所(H・P未来産業創造研究会)

【後援】 経済産業省関東経済産業局、新潟県、長岡市、新潟大学、長岡技術科学大学、新潟薬科大学、長岡工業高等専門学校、(独)産業技術総合研究所、(独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所、(独)科学技術振興機構、新潟県中小企業団体中央会、(社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、新潟経済同友会

【定員】 100名(先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【参加費】 無料

【参加方法】 裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、2月5日までに FAX か E-Mail でお申し込み下さい。

【その他】 シンポジウム終了後、希望者による懇親会を開催します。(お一人様3,000円)

## 内 容

### ① 開会・挨拶

「日本超高压標準基盤研究所構想について」 越後製菓株式会社 代表取締役会長 山崎 彬 氏

### ② 基調講演

「戦略的な科学技術振興について」 内閣府 科学技術政策担当 官房審議官 谷 重男 氏

### ③ シンポジウム

#### ①「食品の高圧炭酸ガス処理技術の標準化」

(独)産業技術総合研究所 生物機能工学研究部門 主任研究員 大淵 薫 氏

#### ②「日本の食品高圧加工技術開発における展望」

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 ユニット長 山本 和貴 氏

#### ③「高圧処理による血液製剤の病原体不活性化法の開発」

国立感染症研究所 血液・安全性研究部 室長 岡田 義昭 氏

#### ④「超高压処理によるDDSおよび再生医療用材料の開発」

国立大学法人 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 岸田 晶夫 氏

#### ⑤「超高压処理装置生産機への挑戦」

(株)神戸製鋼所 機械エンジニアリングカンパニー 課長 岸 新和 氏

### ④ 閉会・挨拶

お問合せ  
申込み先

財団法人にいがた産業創造機構 産業創造グループ 真島・内山・伊花

TEL 025-246-0068 FAX 025-246-0033 E-Mail hp2007@nico.or.jp

# 参加申込書

(財)にいがた産業創造機構 産業創造グループ 伊花 行

(FAX:025-246-0033 Email:hp2007@nico.or.jp)

企業・団体名			
所在地			
TEL		FAX	
E-Mail			
参加者氏名	所属・役職	シンポジウム	懇親会
		参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加

(どちらかに○をお付けください)

※参加申込人数が定員に達した場合のみこちらから個別にご連絡しますが、参加申込受理については特にこちらからご連絡いたしませんので予めご了承ください。なお、確認が必要な方は、担当者までお問い合わせください。

※ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの申込処理のために使用するほか、関連する各種情報の提供のために使用します。

この参加申込書で収集した情報は、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、第三者に提供いたしません。

## 【会場のご案内】



### 高速道路

関越自動車道、北陸自動車道長岡ICから約15分

### JR

長岡駅から2分

